



## 「寺谷用水土地改良区」（磐田市）が 第8回インフラメンテナンス大賞の優秀賞を受賞



表彰式（1/27）



磐田市長へ表敬訪問（1/29）

磐田市の「寺谷用水土地改良区」が第8回インフラメンテナンス大賞の「メンテナンスを支える活動部門」で優秀賞を受賞し、令和7年1月27日（月）に表彰式が行われました。

この表彰は、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に実施されています。

本県ではこれまで3団体（第4回：特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島、第6回：磐田用水東部土地改良区、第7回：静岡県土地改良事業団体連合会）が優秀賞を受賞しております。

受賞を契機として、今後も歴史ある用水を後世に継承していくため、関係機関や地域と連携し、農業用施設等の適切な保全管理が継続されるものと期待されま

団 体	寺谷用水土地改良区（理事長：伊藤 英明）
活動・評価	<p>寺谷用水は、1590年に造成された天竜川を水源とする延長約12kmの農業用水路で、磐田市の水田約1,500haに用水を供給している。農家により組織された「井組」は、円滑な配水と水路の維持管理を行い、430年以上にわたる歴史とその精神が、現在の水利組合に継承されています。歴史的な組織を活用し、長年にわたる継続した取組であることが評価されました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>建設当時の面影を残す「大坎樋」      農家による用水路修繕      受益の水田</p>

## 「ふじのくに美しく品格のある邑」知事顕彰受賞邑の紹介

静岡県では、「ふじのくに美しく品格のある邑」（全155邑）の中から、活発で発展的な活動に取り組む邑を静岡県知事が顕彰しています。今年度は3邑が受賞いたしました。

新たに顕彰される3つの邑では、美しい農村の景観保全、多様な主体が参画した新たなコミュニティ活動、地域資源を活用した商品開発など多様な活動が行われております。受賞を契機として、今後も、地域の魅力を活かし、他の地域や多様な主体との連携や交流を深めていただき、更なる地域の発展が期待されます。



知事顕彰式典の様子

邑名	浮橋（うきはし）（伊豆の国市）
活動組織	浮橋まちづくり実行委員会
活動・評価	遊休農地を活用した小麦や蕎麦の栽培、都内小学生の農業体験、流しそうめんなどのイベントを通して地域内外の人たちと幅広い世代間交流を実現。有機農業も広まりつつあり、伊豆の国市が宣言した「オーガニックビレッジ」のモデル地域としても期待されています。



邑名	梅ヶ島（うめがしま）（静岡市）
活動組織	梅ヶ島学区自治会連合会
活動・評価	梅ヶ島温泉郷や赤水の滝、大谷崩れなどの自然資源に囲まれた地域で、地名にちなんだ「梅の里」づくりを行っています。静岡市指定無形民俗文化財である「梅ヶ島新田神楽」の継承を行う中で、地域内の世代間交流も図られています。



邑名	～竜ヶ石山～西四村の里（りゅうがしやま）（浜松市）
活動組織	里山元気もりもり隊
活動・評価	荒廃していた白檀の棚田を地元有志で復田し、その後も保全活動を継続。現在は企業や大学も保全活動に参加しており、関係人口が増加しています。鍾乳洞「竜ヶ岩洞」は地域経済の活性化に貢献しており、多様な地域資源を活用した邑づくりが展開されています。



# 東部

## ほ場整備事業「高根西部・一色地区」工事説明会の開催！

御殿場市・小山町に位置するの高根西部・一色地区は、ごてんばこしひかりと水掛菜の生産に取り組む水田地帯です。



従来の小区画不整形な農地を、生産性が向上するよう区画を大きくし、水路や道路を整備する「ほ場整備事業」に平成29年度から着手しています。

受益面積48haを13のブロックに分け、令和2年度から工事を開始しており、本年度に11、12ブロック目となるK・Mブロックの工事を行います。

12月23日（月）に地元役員やMブロック地権者に向けた工事説明会を開催し、要望事項の確認を行いました。

今回の説明会でいただいた御意見を工事に反映し、営農者が利用しやすい農地となるよう、事業を推進していきます。

東部農林事務所農地整備課 055-920-2166

# 西部

## つなぐ棚田遺産に選定された3棚田による 意見交換会を実施

12月26日（木）、浜松市内にある久留女木の棚田、白檀の棚田、大栗安の棚田の関係者が集まり、棚田保全等に関して意見交換を行いました。

いずれの棚田も、令和4年に農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に選定されています。

浜松市は、令和8年度に「全国棚田（千枚田）サミット（全国棚田連絡協議会主催）」の開催地となることが決定しており、令和7年度から、本格的にサミット開催に向けた各種調整・打合せを進めていく予定です。

各棚田の関係者からは、サミット開催が地元にとっても有意義なものとなるよう、様々な意見やアイデアが出されました。

西部農林事務所では、今後も棚田の活動を支援していきます。



西部農林事務所農村計画課 053-458-7225